

2021 年度一般入試における 英語 4 技能テストの利用について

2019 年 9 月 17 日
早稲田大学入学センター

(1) 2021 年度入試の変更点

- ・(学部共通) 本学では英語 4 技能の成績を証明(確認)するために、大学入試英語成績提供システムを利用します。また、高校 2 年時に受検したスコアなど大学入試英語成績提供システムで提供されない成績を利用する場合を想定して、本学が指定する書類を提出(一部の試験はあわせて試験団体に大学へスコアの直送を依頼)する方法も可能とします。学部・入試制度ごとにどちらか一方を出願時に選択してください。また、学部・入試制度ごとに利用できる試験、級やレベルといったテスト種別、ならびに利用方法が異なりますので、以下の内容と 2020 年 11 月上旬に掲載予定の入試要項を必ず確認してください。
- ・政治経済学部的一般入試において加点方式(最大 15 点)を導入します。未提出でも出願が可能ですが、その場合 0 点(加点無し)とします。大学入試英語成績提供システムの対象である英検/TEAP/TEAP CBT/GTEC/ケンブリッジ英検/IELTS/TOEFL iBT の利用を可能とします。
- ・商学部において一般入試(英語 4 技能利用型)を新たに導入します。学部にて定めるスコアを満たすもののみ出願が可能です。さらに一定のスコアを満たす場合、加点があります(出願要件+加点方式)。英検または TOEFL iBT の利用を可能とします。なお、一般入試(英語 4 技能利用型)と、一般入試「地歴・公民型」または「数学型」の併願はできないため、3 つのうちから 1 つを選択して出願する必要があります。
- ・国際教養学部的一般入試(加点方式)において、IELTS が新たに利用可能となります。また、加点の上限が 200 点のうち 15 点から 20 点に変更となります(2020 年度入試以前と同様、未提出でも出願が可能ですが、その場合 0 点(加点無し)とします)。

(2) 出願時の提出書類、入力項目

証明方法	提出書類	入力項目
大学入試英語成績提供システムを利用する	成績請求票	成績請求番号
大学入試英語成績提供システムを利用せず 大学が指定する書類を提出する(一部の試験 はあわせて試験団体に大学へスコアの直送 を依頼する)	検定試験ごとに規定する 書類(→3 ページ)	検定試験ごとに規定する 項目(→4 ページ)

大学入試英語成績提供システムを利用しない場合の各入力項目は、提出書類にそれぞれ記載されています。

(3) 有効期間

2019年2月から2020年12月までに受験したスコアを有効とします。実用英語技能検定（英検）は二次試験を2018年度第3回以降に受験したものを有効とします。また、大学入試英語成績提供システムを利用して英語4技能テストの成績を証明する場合は、別途同システムが定める所定の期間に受験した試験のスコアを対象とします。

(4) 利用できる英語外部検定試験の種別

次ページの通り、学部・入試制度により利用できる英語外部検定試験の種別が異なります。スコアの証明には、大学入試英語成績提供システムを利用する方法と、本学が指定する書類を提出（一部の試験はあわせて試験団体に大学へスコアの直送を依頼）する方法の2つを可能とします。学部・入試制度ごとにどちらか一方を出願時に選択してください。それぞれの方法によってWEB出願時の入力項目と提出書類が異なります。

(5) 利用方法について

学部・入試制度により利用方法（一定の基準を満たす場合に出願可能、級やレベルに応じて加点など）が異なりますので詳しくは別紙を参照してください。または2020年11月上旬に掲載予定の入試要項にて確認してください。

英語 4 技能テストを利用できる学部、入試制度と各テストの提出書類は以下の通りです。

テスト種別		政治経済学部 一般入試	商学部 一般入試（英 語 4 技能テ スト利用型）	国際教養学部 一般入試	文化構想学部 一般入試（英 語 4 技能テ スト利用型）	文学部 一般入試（英 語 4 技能テ スト利用型）	提出書類
実用英語 技能検定	英検 GBT、 英検 1day S-CBT、 英検 2days S-Interview	○	○	○	○	○	合格証明書（和文）または 英検 CSE スコア証明書（和文）
	従来型	× ※3	○	○	○	○	
TEAP または TEAP GBT		○	×	×	○	○	成績表
ケンブリ ッジ英検	B2First (FCE)、 C1Advanced (CAE)、 C2Proficiency (CPE)	○	×	×	○	○	受験票
	A2Key (KET)、 B1Preliminary (PET)	○	×	×	× ※4	× ※4	
GTEC	Advanced Basic Core	○	×	×	× ※5	× ※5	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
	GBT	○	×	×	○	○	
IELTS		○	×	○	○	○	成績証明書（Test Report Form）の原本又はカラーコピーを 1部提出してください（※1）。あわせて試験実施団体へデ ータによるスコア「Test Report Form」の直送を依頼してく ださい（※2）。送付先を「早稲田大学入学センター」、送付 先住所を「〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1」とし てください。
TOEFL iBT		○	○	○	○	○	Examinee Score Report の原本又はカラーコピーを1部提出 してください（※1）。あわせて試験実施団体へスコア 「Official Score Report」の直送を依頼してください。 Institution Name は「Waseda University」、DI コードは 「9342」です。

政治経済学部、国際教養学部はスコアを未提出でも出願が可能です。

文化構想学部、文学部において実用英語技能検定を利用する場合、総点と各技能点が学部の指定する基準を満たしていれば、受験した級および合否は問いません。

※1 英語 4 技能テストを利用する入試を複数回にわけて出願した場合はそれぞれ提出が必要です。

※2 データでなく紙の直送しか依頼できない場合は、出願期間前にその旨を入学センターへご連絡ください。

※3 政治経済学部において英検を利用する場合は大学入試英語成績提供システムを利用する方法のみを有効とします。

※4 文化構想学部、文学部においてケンブリッジ英検を利用する場合、A2Key (KET)、 B1Preliminary (PET) は利用できません。

※5 文化構想学部、文学部において GTEC を利用する場合、Advanced、Basic、Core は利用できません。GBT のみ利用可能です。

大学入試英語成績提供システムを利用せず大学が指定する書類を提出する場合の WEB 出願ページの入力項目と注意事項は以下の通りです。

テスト種別	WEB 出願ページの入力項目	注意事項
実用英語技能検定	<ul style="list-style-type: none"> ・受験年度 ・受験回 ・個人番号（7桁） 	①英文の証明書は提出不可。 ②英検（従来型）は 政治経済学部以外の学部で利用可能 です。 政治経済学部で利用する場合は、大学入試英語成績提供システムを必ず利用してください。
TEAP または TEAP CBT	Registration ID（11桁）	①総点は志願者自身で計算してください。 ②TEAP CSE スコアの入力は不要です。 ③2技能のみのスコアは利用できません。
ケンブリッジ英検	ID Number（9桁）	①出願締切日までにオンライン成績確認サービスページで「Send my result」（成績共有）の手続を済ませてください。 ②Use of English スコアの入力は不要です。
GTEC	Test ID（9桁）	オフィシャルスコア（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE）のみ利用可能とします。
IELTS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Test Report Form Number（18桁） ・ Test Date 	アカデミック・モジュールのみ利用可能です。
TOEFL iBT	<ul style="list-style-type: none"> ・ Registration Number(16桁) ・ Test Date 	Test Date スコアのみを利用します（「MyBest スコア」は利用できません）。

上記の他にスコア、級の項目を WEB 出願ページにて正しく入力してください。一部の試験実施団体にスコアを請求する際、上記項目の他に生年月日を利用します。試験申込時の生年月日が誤っているとスコアの提供・確認ができませんので、生年月日を誤ったまま受験したテストを利用する場合は出願期間内（厳守）にその旨を入学センターへ連絡してください。

その他の点は入学センターへ連絡するか 2020 年 11 月上旬に掲載予定の入試要項にて確認してください。

以上